



関西学院所蔵の絵画Ⅱ

Art of the Bible

— 視る聖書の物語 —

アート・オブ・ザ・バイブル

目次

ごあいさつ	3
関西学院とキリスト教美術 東浦哲也	4
参考文献	5
小磯良平と関西学院、キリスト教	
-本展出品作家たちと絡めて- 廣田生馬	6
I 旧約聖書の物語	12
II 新約聖書の物語	14
図版	
小磯良平	18
田中忠雄	19
渡辺禎雄	23
鴨居玲	27
堀江優	28
プロフィール	30
作品リスト	裏表紙見返し

凡例

- ・本図録は2011年4月1日(金)～2011年6月10日(金)まで開催する展覧会「関西学院所蔵の絵画II Art of the Bible - 視る聖書の物語 -」の図録である。
- ・出品作品はすべて関西学院の所蔵である。
- ・作品番号は展覧会場の作品番号と一致するが、陳列順序とは必ずしも一致しない。
- ・本書の聖書の物語および作家プロフィールは、東浦哲也(関西学院高等部美術科教諭)が執筆した。
- ・図版ページに記載の作品寸法は、すべて縦×横(cm)で記した。
- ・図版に付した聖書の文章は、日本聖書教会発行『聖書 旧約聖書続編つき 新共同訳』1989年より引用した。
なお、一部の文章には省略した箇所がある。
- ・写真撮影は深井純(博物館開設準備室教育技術主事)が担当し、高木香奈子(関西学院大学大学院研究員)、福本有寿子(関西学院大学大学院文学研究科)、西村佳乃子(関西学院大学大学院文学研究科)が補助した。
- ・本書のブックデザインは秋山高美(博物館開設準備室)が担当した。
- ・本書の編集および構成は福本有寿子が担当した。

ごあいさつ

関西学院は、宣教師ウォルター・R・ランバスによって1889年（明治22）、神戸の原田の森に創立されました。プロテスタントの一派である南メソジスト監督教会の日本における伝道活動が開校の基盤となり、現在に至るまで一貫してキリスト教主義教育が行われています。

本学が所蔵するキリスト教絵画は、日本人がキリスト教を、自らのものとして受容し、表現していることがよくあらわれている作品がそろっています。神戸に育ち生活する中で自然にキリスト教とふれあうようになった小磯良平、いち早く日本人らしさをもって信仰を表現した田中忠雄、和紙に型染版画という日本の民芸的手法によりイエスを表現した渡辺禎雄、人間の存在・宗教の意味を問い続けた鴨居玲、聖書の中の人物を自分自身に照らし合わせ、人間の弱さを表現しつづけている堀江優。1点1点の作品の構成や筆のタッチに、作者自身の心や聖書の中の人物の感情があふれ出ています。

1929年（昭和4）、関西学院はキャンパスを西宮上ヶ原に移転しました。建築家ウィリアム・M・ヴォーリズによるスパニッシュ・ミッションスタイルのキャンパス・プランは、キリスト教精神を表現した芸術作品といえます。本展覧会では、普段会議室などに掛けられなかなか目にするのできない関西学院所蔵のキリスト教絵画を、キャンパス・プランの中心である時計台に集め、展示します。

有名画家たちが視た聖書の世界とはどのようなものだったのでしょうか。画家の視た聖書の物語を感じとっていただければ幸いです。

関西学院大学博物館開設準備室

謝辞

本展開催にあたり、下記の方々から多大なご協力をいただきました。記して感謝申し上げます。(50音順)

牛島龍介 様
嘉納邦子 様
田中文雄 様
堀江 優 様
渡辺達雄 様

関西学院所蔵の絵画Ⅱ Art of the Bible
— 視る聖書の物語 —

2011年4月1日発行

編集発行：関西学院大学博物館開設準備室

〒662-8501

兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

印刷製本：有限会社仁川印刷所

© KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY
MUSEUM PLANNING OFFICE 2011